

COVID-19 の対策・注意点

SCOA は、日本政府のコロナ対策ガイドラインを参考にし、キャンプでの COVID-19 のリスクを最小限に抑えています。

また、キャンプを開催する愛川ふれあいの村と協力して、参加者様への感染リスクを最小限に抑えます。

愛川ふれあいの村のコロナ対策ガイドラインについてはこちらのリンクよりご参照ください：

<http://fureai-aikawa.com/uploaded/%E6%84%9B%E5%B7%9D%E5%8F%97%E5%85%A5%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB20220110%E6%94%B9%E8%A8%82%E6%B8%88.pdf>

- 宿泊施設では、8人部屋に最大4名が寝泊まりします。全部屋において換気口と窓による換気が可能です。また、手指消毒液も利用可能です。
- 食事中、入浴中、睡眠中以外は屋内外でマスクを着用します。バスの中では全員がマスクを着用し、バスの中では食事をとることができません。
- 初日のチェックイン時に、キャンパーとカウンセラーは体温を計測します。体温が37.5度を超えていたり、COVID-19関連の症状が出ている場合は、キャンプへの参加が認められません。
- キャンパーとカウンセラーの体温は、朝と夜に計測します。高熱やその他の症状がある人は、隔離のために用意された部屋に滞在していただきます。
- 入浴の際には原則シャワーのみとし、お風呂は利用できません。
- 最大収容人数250名の食堂は、半分の125名以下で同時利用可能となります。
- 朝食と夕食はビュッフェスタイルでキャンパーが自分で食事を盛り付ける形式です。コロナ対策によりおかわりが禁止となっているため、キャンパーはこのルールについて毎食説明を受けていただきます。
- 食事スペースは左右前方が飛沫感染対策用のアクリル板で仕切られており、食事時の会話は控えていただきます。
- 昼食は屋外でお弁当が支給されます。

COVID-19 感染が疑われる場合の対応について

参加者及びスタッフが高熱等の COVID-19 でみられる症状を示した場合、SCOA スタッフが当該者の健康記録を参考に隔離等の健康観察措置をとるべきかを判断いたします。

例えば、ハイキング後の疲労やランニング後の息切れのような状態がみられるキャンパーがいた場合、COVID-19 特有の症状ではないため隔離措置はとりません。症状に応じた健康観察を行い休息をとっていただき、症状が改善されたら続行していただきます。（症状改善後も適宜健康観察を行います）

上記以外の COVID-19 特有の症状及びそれに準ずる深刻な症状がみられるとスタッフが判断した場合、当該者を 12 時間隔離しスタッフによる健康観察を行います。

隔離開始後 12 時間以内に症状が改善された場合、当該者はプログラムに参加することができます。

万が一症状が悪化したり改善されない場合、保護者の方にご連絡を差し上げてお迎えに来ていただくといった対応を取らせていただきます。